

第12回 北見地域医療的ケア児等支援者研修会

病気があって産まれても『地域』で 家族と一緒に暮らすには？

～十勝・北見地域における支援の取り組み～

第12回北見地域医療的ケア児等支援者研修会は「医療的ケア児の地域生活」をテーマに開催いたします。

北見赤十字病院小児科 安藤明子先生より「医療的ケア児のNICUからの在宅移行について」をテーマに、NICU（新生児集中治療室）の役割や在宅移行支援について、ご講演いただきます。また実践報告では、道内における医療的ケア児支援の先駆的な取り組みをされている十勝地域の「いえーる in とかち」[※]と、北見市内で新たに医療的ケア児支援を開始された介護保険事業所「たんぼぼ」による、支援開始に至るまでの経緯や支援内容をご紹介します。

後半のディスカッションでは、医療的ケア児とご家族が「地域」で一緒に生活していくために必要な支援や環境について考え、北見地域の「医療的ケア児支援」の裾野を広げていけたらと思います。是非、皆様のご参加をお待ちしています。

講演

「医療的ケア児のNICUからの在宅移行について」

講師：北見赤十字病院小児科 第二小児科部長 安藤 明子 氏

実践報告

「いえーる in とかち」 内藤 聡 氏
(イナガミ薬局大空店 薬局長兼管理薬剤師)

「いえーる in とかち」 松山なつむ 氏
(訪問看護ステーションかしわのもり 統括所長)

医療法人オホーツク勤労者医療協会 名達 丈浩 氏
(「訪問看護ステーションたんぼぼ」主任)

医療法人オホーツク勤労者医療協会 門脇 広 氏
(「看護小規模多機能たんぼぼ」所長)

ディスカッション

テーマ：「医療的ケア児と家族が「地域」で一緒に暮らすには？」

※いえーる in とかちって？

「YeLL(いえーる)は、札幌を拠点とする医療法人稲生会が北海道より任を受けて推進している「北海道小児等在宅医療連携拠点事業」の愛称です。

「医療を必要とする人々が家で暮らすことを可能にするネットワークを北海道につくり、広げていく。在宅医療の重要性をより多くの方に知ってもらいながら、多様な人々が一緒に暮らす社会づくりをすすめること」を目的とした事業です。

そんな「YeLL」の活動目的に共鳴した有志が集まり、とかち流のYeLLを広めるためのプロジェクトです。

いえーる in とかちで大切にしている思い

「ぼくはココにいるよ!」「わたしもココにいるよ!」と、声が届かないところで生きているいのちがあります。こどもが大好きで、何かできることはないか、何かできるのかわからずに、「ココにいるよ…」とつぶやいている方が地域にはいます。

そんな「ココいる」がつながり、医療が必要な子どもたちがお家で暮らせますように…



2024.

10.26 土

13:30～16:40

(受付 13:00～)

会場 北見市民会館
1号室

(北見市常盤町2丁目1-10)

当日、ご家族用の休憩室(和室)をご用意しておりますのでご使用ください。

定員 60名 参加費無料

本紙裏面の申し込み用紙に
必要事項を記入の上、
FAX、またはメールにて
申し込み願います。

締め切り：2024年10月18日(金)

ご参加
お待ちしております
おります

主催：北見地域基幹相談支援センター ささえーる美幌

北海道網走郡美幌町字美富9番地(美幌療育病院内) ☎0152-73-3145